広報富士川

12月号

編集　富士川町役場内庶務課広報係
静岡県庵原郡富士川町
発行人　助役中川国兵
電話　岩渕3・120・127
印刷所　望月印刷所　電話　岩渕304

新春、成人二六二名
知事、町議選をひかえ

第十五回成人式は正月十五日、第一公民館で行なわれる。

男子一一七名、女子一四五名計二六二名が新しく成人の仲間入りする。

一月から四月生れの人たちもいるので全部ではないが、大半の人たちが一月の知事選に公民としての権利と義務を一票に託し、続いて四月、私たちにとってはいっそう身近かな町議選にも全員参加することとなった。

それだけに、この人たちの動向は各面から注目されるであろうが、社会のルールを学び、責任ある行動をとるよう期待される。

なお、成人式を主催する教育委員会では、式典そのものは厳粛な内にも短時間にしぼり、気楽な明るい集会にもっていく意向を示しており、静岡市立商業高校ブラスバンドの演奏を予定したり、記念品も例年とは趣きの変わったものを用意するようある。成人者の人たちが一人残らず参会する日間を縦覧期間、選挙人名簿の確定は一月二十五日と決定した。なお選挙人名簿調製現在期（選挙権の資格の有無をきめる基準日）は一月十日である。

県知事選は迫った。一月二日告示、一月二十七日投票と決定。

補充選挙人名簿の登録申請は一月十一日から十六日まで六日間受けつける。

町では選挙人名簿を一月十九日までに調製、一月二十日から二十二日までの三日間を縦覧期間、選挙人名簿の確定は一月二十五日と決定した。なお選挙人名簿調製現在期（選挙権の資格の有無をきめる基準日）は一月十日である。

知事選一月二十七日
一月二日告示

15日現在八五五一名
当町有権者総数

選挙管理委員会は来春一月の知事選に備え着々その準備を整えているが、十二月十五日現在有権者数、男四、三八〇、女四、一七一計八、五五一名と発表。

若月清氏副議長に
二町隔離病舎組合会で

富士川町、浦原町隔離病舎組合議会は十一月二十九日、二カ年交替制に従って、本年度から浦原町長が管理者となって初会議を招集した。

総額九六万五千円の追加予算、由比町の組合加入申し入れについての処置などを審議した。

なお当日、議会の編成を改選、議長には浦原町議長井上民蔵氏、副議長には富士川町議員若月清氏が決議された。（36年度までは渡辺忠作氏が議長）富士川町の議席は八番渡辺忠作、九番望月年春、十番若月清、十一番若月幾太郎、十二番望月文吉の五氏となっている。

※都合により一中不参加

青少年非行化防止運動
「親子そろって楽しい正月」

役場民生課、町青少協理事会から大切なわが子にとりかえしのつかぬ不幸を招かないよう呼びかけている。

○事業所での事故防止を通じ勤労青少年を守る

○冬山登山、スキー、スケートの安全確保

○未成年者の飲酒、喫煙、夜間外出に注意

○交通事故防止

○危険な遊び道具に注意

○クリスマス、正月は家庭で親子そろって楽しく

以上の項目を重点に青少年児童を守る運動である。

なお青少協連絡会は近く町内全家庭にこの趣意書を配布する。

小中生作品結果
納税思想普及の

役場税務課主催の納税思想普及作品の募集結果。

ポスター一四八点、習字五点、内入賞ポスター三十点、習字一三点。

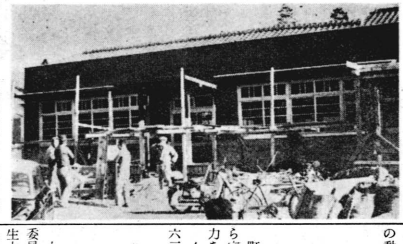
第二中　久保田光子
第一小　杉山雅之
第二小　小泉昭雄
第二小　望月晴美
習字一位
第二中　田ヶ下ひさ子
第一小　田中満里子
第二小　小泉保
第三小　小泉保

地味

※歳末助けあい運動が実施されている※人を助けるということを前に押しだすことは、はなはだしく、その受ける側の人格を痛めるものだ※助けあいとなると、今、人の援助を受けた人も、やがては助ける立場になることをもって、車屋になろうとする※自立している人たちの善意、同情のなかに、与えなどという気持が含まれているならば、だいそれたことだ※私が今日あることを感謝して、自分の同分のことを社会に返すのだという思う情けなのだ※勤労の心があって、なお、できず、精神的、経済的に苦しんでいる家庭が当町にも百人位いるという※クリスマスところか、正月も黒々と過ごしたのか。かわいそうと思わないか！※実をいうと私も生活は苦しい、が百回だけは社会へ返そうと思う※乞食の世想だ。必要なのは暖かい血と涙※蛇足で遊さていく今月、私は百世帯の人たちのことを考えて涙を禁じえない。（西）

固定資産税
第三期
12月25日限り

役場増築成る
68平方米、100万円で



外装はまだ完成しないが、内部はすでに終り、外壁に明るく広々とした事務室に変った。

カウンターの腰も思いって低くし、威圧感のないようにした事務改善も不能に近くなり、親しみもてる役場であるよう、気が配られている。

増築坪数六十八平方米、費用は百万円、三、三平方米当り五万円を要した。

事務職員のみでも五十余名を数え、以前の庁舎では、すでにその収容力を越えており、住民サービスを中心とした事務改善も不能に近くなり、ぜひとも増築せねばならぬ状態にあった。

出初式に新鋭消防車
五分団（北松野）に配属

町民の生命財産を火災から守る消防団に、また一威力を加えることになった。

イスズ消防自動車（一九六三年型一四〇馬力）が金五十五万円を除く百四十二万円が町費である。

当消防車はあらゆる装備に秀でており、その能力はすばらしい。なお正月二日の出初式にその勇姿を現わす予定。

夫婦で合算15年
民生委員として

十二月一日、全国の民生委員が一斉に改選され、厚生大臣より委嘱状が伝達された。

当町では、家庭の都合で退職を希望した長谷川民生委員（東町）のほかは全委員留任が決定した。

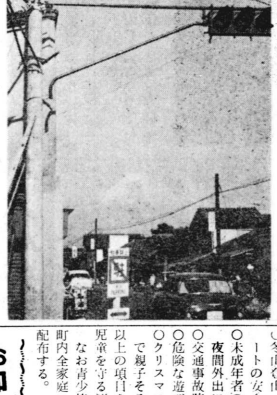
退職された長谷川まさえは三年の間、親身になって町民の人たちの相談ごとに耳を傾け、その解決をはかってきたが、世帯主の長谷川健氏も、十余年民生委員を勤めあげ、夫婦そろっては、実に十五年間も社会福祉事業の一線をになってきたことになる。

民生委員は次の方々で、十二月中は民生委員の家庭を生活相談所として開設する。

「生活、就労、その他困ったことは一人で悩まないで、たこと恥ずかしいなどと思わずに相談して下さい」

堀ノ内　宇佐美晴雄
半在家　田中ヨシ子
原　方　鍋織　英子
平清水　佐野かつ子
根　方　市川　政男
小　山　植松　鉄蔵
上　町　水口　大礼
相生町　篠田　弥夫
旭　町　斎藤　六郎
本　通　坪内　隆子
堺　町　斎藤　みち
小池　望月　荘一
東　町　前沢　芳雄

駅前信号機、点滅開始
シグナルのかげに三つの寄付



十二月十一日、駅前交通信号機が点滅を開始した。

駅前、県道と国道との交点に設置され、赤、青、黄のシグナルにより歩行者の利便と安全をはかることになった。

同所は当町の玄関口である岩渕駅を目前にひかえてもっとも交通が激しく、列車へ乗るためにむりな横断も見られて、はやくから自動信号機の設置が願われていた。

ベルの音で向い正面の信号が青となると同時に、国道の上に突きでた支柱に、二つの信号は赤になり、自動車の一斉停止により、歩行者は安全に駅へ向うことができるようになった。

自動交通信号機の費用は五十五万円、その半額二十七万五千円が町負担となっているが、本通り、佐藤栄一氏の十万円寄付（10月号既報）本通四丁目区の二万円寄付、新町、故増田仙之助氏の千円寄付が集まった。

はじめての自動信号機の出現でとまどう人たちも見られ、信号機ができたことにより逆に事故がおきたなどということのないよう、交通安全協会、警察、役場、交通安全協会が中心となってこの指導を当分の間続けることになった。

十三、十四の両日には特○一月二日消防出初式、○一月一日寄付（10月号）本通四丁目区の二万円が交さ点に立ち、指導に当

青少年非行化防止運動
「親子そろって楽しい正月」

役場民生課、町青少協理事会から大切なわが子にとりかえしのつかぬ不幸を招かないよう呼びかけている。

○事業所での事故防止を通じ勤労青少年を守る

○冬山登山、スキー、スケートの安全確保

○未成年者の飲酒、喫煙、夜間外出に注意

○交通事故防止

○危険な遊び道具に注意

○クリスマス、正月は家庭で親子そろって楽しく

以上の項目を重点に青少年児童を守る運動である。

なお青少協連絡会は近く町内全家庭にこの趣意書を配布する。

お知らせ欄

⊙役場庶務課より――これからの行事、日程

○十二月十九日区長会。

○十二月二十日議案管理委員会。

○十二月二十二日町議会。

○一月一日各側交換会、於第一小学校午前十一時より、会費百円。受付十二月二十五日まで。

○一月一日消防出初式、於第一中学校午前九時より。

○一月十五日成人式、於第一公民館午前八時より挙行。

○一月二十七日県知事選挙投票日。

○十二月二十九日から一月三日まで役場、支所、図書館は休日。

⊙富士土木事務所より――道路相談所開設

県民の道路に関する意見陳情、要望などについて相談に応ずるため当事務所に道路相談所を開設、毎週月曜日を相談日とした。御利用を。

新幹線

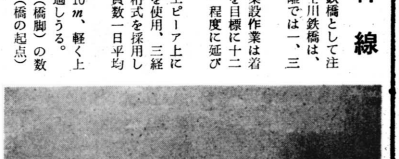
新幹線最長鉄橋として注目を浴びる富士川鉄橋は、両起点間の距離では一、三七四米。

滝上工業の架設作業は着々進み、来秋を目標に十二月現在五分の一程度に延びている。

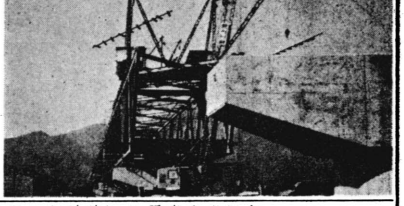
鹿島建設施工ピーア上に架橋クレーンを使用、三経間連続トラス桁式を採用しており、作業員数一日平均は僅か60名。

幅はおよそ10㍍、軽く上下線二本を通過しうる。

なおピーア（橋脚）の数は28脚、橋台（橋の起点）は2台である。



上…着々、対岸富士市へと延びる鉄橋
下…架橋グレーンの活動、手前がピーア



百世帯へ同情金品
歳末助け合い運動

今月いっぱい全国的に歳末助けあい運動が実施されているが、わが町では六日仏教会「助け合い托鉢」を皮切りに婦人会、町内会が中心となって一般家庭からの金品を募り、恵まれない人たちに贈ろうと強力な運動を展開、続々役場に集まってきている。

十八日現在

現金
仏教会托鉢四一、七一五円
婦人会　一、二〇五円
〃　六二、〇〇〇円
個人　植松鉄蔵氏千円他二名
品物
婦人会　みかん小箱五十箱
〃　衣料　二百点
〃　ラジオ　二台
個人　ラジオ　一台

役場職員一同

町には親のない児童、母子世帯や身障世帯で生活に困っている家庭、扶養者のいない老人など、きのどくな家庭が百世帯近くもある。現金十万円を分配しても一世帯あたり僅かに千円である。テレビは勿論、ラジオもない板の間の生活、働きたくても働けぬ事情にある人たちに暖かい善意を寄せ

かりに一世帯平均四人としても四百人からの町の人たちが歳末の買物ところか正月の晴着も買えぬ状態に あることを……。

今回の歳末助け合い運動では、文化の光りのとどかぬこれら世帯へせめて中古のラジオでも贈ろうという運動もつけ加えられているが、十八日現在で三台である。

ピック さらばさらば

江津ひろし

インフルエンザ
厚生省だより

インフルエンザの流行地域では、とくに病弱者、幼児、老人など目に予防接種をしておく。インフルエンザは、患者のせきやクシャミの際の飛まつ（沫）から感染するから、流行時には、なるべく大勢の集まる場所に行かないようにしていけっ。家庭に患者が出たときは、別室にねかせ、患者はマスクをして他に感染するのを防ぐようにする。乳幼児の母親が患者の場合には、とくに注意。

四十をこえたら
血圧測定

成人の二大死亡原因に数えられる高血圧、がんは早期診断がなによりも大切。この点について役場国保衛生主任は

「わが町では毎年順番に各区の血圧測定を実施しているが、今年は医師会の献身的申入れにより十月九日の両日、町医師会無料血圧測定で代行された。六八六名の多きにのぼる人たちが診断を受けたが、このきい受けとったカードに「無理はせぬよう」指示のでた方は、新鮮な野菜、果物のとかく不足がちになる冬期であるのでいっそうこの点に注意、時々、血圧測定を受けて自分の血圧を知り、適応した生活をすることが必要である」と語っていた。

食塩のとりすぎは禁物

食塩のとりすぎも高血圧の原因の一つとされているが、やはりそうだったのでしたがつてみそしるや塩漬け類のとりすぎはよくない。

食塩は水を呼ぶ性質があるので、食塩をとりすぎてそれだけ水分を余分に血液にはいって、ふえた塩分の分だけ心臓の負担がかかりこの負担のために血液中の塩分がふえると、血管の圧力も高くなるのである。これと反対に血液中の塩分が減ると、水分もそれに応じるので、血液の量が少なくなって血管の負担が軽くなり、したがつて血圧もさがることになる。しかし血圧がさがりすぎると疲れやすくなる。

歳末特別警戒に出動
―町内警察署員の顔ぶれ―

年末年始にかけて、防犯と交通事故防止の特別警戒に入った富士川町警察署は、出所の署員は町長を含む計六名、松野駐在所一名。管内町民の安全を守るために正服もりりしくパトロールに従事している。

私たちを守るため日夜、地味な活動を続けている署員の人たちの労苦に感謝したいもの。

所長は氏原綾夫氏、二十六年の勤続年数を誇るこの道ベテランの警部補。年齢も五十才の壮年、チョビ髭の似合う好紳士。柔道三段剣道初段の腕が示すような貫録ある体付きである。職務上の発案、発明にも研究を積まれ、最近では指紋採取器に独自な新案を完成しており、今後の発展が期待されている。

小林武夫巡査は勤続年数二十年、年令四十九才「無芸大食ですよ。アハハ…」と笑っていたが、快活な内柔な性格の持主。

たら放さぬ闘志が感じられた。

青島泰巡査は四十五才、勤続年数二十年、柔道初段、平素の柔和な顔つきが、酒の入った富士川町警部補、木山秀雄巡査は十五年勤続、三十八才、剣道初段。

清水除巡査は二十五才の青年。そのスマートさからもうかがえるように、拳銃なお警察音楽隊在籍の経歴をもつクラリネット奏者でもある。

加藤秀雄巡査は三十八才剣道四段、空手二級のモサ

いかめしい風格に似ず、家庭では良きパパ。

木山秀雄巡査は十五年勤続、三十八才、剣道初段。とつつきにくいような感じを受けるが、その実、話しをすればするほど情味が伝ってくる人柄。

加藤、木山両巡査はこの日パトロール中であった。

松野駐在所には、勤続年数二十年、温厚五十才の杉山武巡査がおり、日夜、黙々として治安にあたっている。

（写真右から小林巡査、氏原所長、清水、青島巡査）

国旗掲揚、門松撤去
―区長会で―

十九日の区長会で祝祭日の国旗掲揚、資源愛護のための門松廃止をとりあげた。

広報メモ

37年を終る。来春にはこの広報紙のスタイルを変えたいと思っている。

「描き染め」も「血痕」一月号から毎月執筆していただいた氏車博氏に厚く感謝する。

「ピック」も今月号をもってその活躍を終了する。

ピックよ／さようなら。江津ひろし氏の御多幸を祈る。

―やがて除夜の鐘―
「皆さん、楽しい正月をお迎え下さい。

人の流れ
（敬称略）

祝結婚

区名　氏名　新郎　新婦　旧姓
宮町　宮田　力　正子　杉本
宮町　加藤英太郎　八重　加藤
川坂　若月良介　正子　鳥本
木島　芦川喜一　未津江　石井
上町　清水義夫　恵美子　清水
坂下　望月清一　美沙子　三尾
鳥町　太田昭　芙美子　萩原
鳥町　古屋賀紹　貴久江　杉山
小池　龍雄しげき　永野
東二　鮎川宮明　美代子　永野
舟山　新田源一　幸江　望月
道上　石川文彦　徳恵　佐野

祝誕生

区名　氏名　保護者　続柄
宮町　田中泰博　真苗美　隆　男
宮町　早川真吉　登　孝二　女
東一　小金沢邦子　定雄　三　男
新町　松下　真　辰也　長男
木島　佐藤　博　辰也　長男
舟山　斎藤哲也　和磨　二男
舟山　石川さとみ　正吉　二男
四十九　長谷川あかね　長女

転出した人

区名　氏名　転出先
小池　加藤　裕子　横浜市
幸町　望月　貴子　東京都
本通　関口志満子　裾野町
四十九　古川のぶ子　由比町
小池　加藤すみ子　由比町
本通　佐野　豊　沼津市
四十九　佐野　豊彦　蒲原町
坂下　河原喜代子　富士市
本通　河原喜代子　富士市
坂下　名取　文子　吉原市
舟山　名取　文子　東京都
木島　佐藤　博　蒲原町
道上　朝比奈貞子　富士市
木島　朝比奈貞子　富士市
舟山　由比　礼子　富士市
清水　稲葉　悦子　芝川町
三十坂　稲葉　悦子　富士市
根方　竜　克則　年令
坂下　竜　克則　三九
宮町　沢久世　八六
上町　小永井優昌　八六
坂下　鈴木　ゆき　一九
舟山　斎藤　ふさ　七一
大石　与作　六一
坂下　大石　与作　一一
深沢伊十郎　ひさ　七九

祈冥福

区名　氏名
宮町　沢ひで子
上町　鈴木　ゆき
斎藤　ふさ
大石　与作
坂下　大石　与作
深沢伊十郎　ひさ

描き染め　血痕
氏車　博

その十二

事件後、十日たった。村役人の吟味も進められてはいるが、誰かに匕口で殺されたということよりほか何もわからなかった。

太作は、いよいよ自分の身が安泰になってきているのを知った。秘密を握った男を殺したことは、せいせいしこそすれ、恐怖も、まして、後悔もなかった。事件当日の彼の説明には、すきはなかった。正直で感じがいいにはがされることなく終った。いや、かえって、一つ前に以前より計画していたわけではないが、やはり、いつかはこの男を、うとうとする持が、つくづくこの男のあったことはいなかった。

甲州舟運に従事する舟人衆の独身者の住いは富士川沿いにあったが、彼とその男だけは、少しはなれた物見堂というところに、ぽつんと住んでいた。

その日、便を終った二人は小屋に帰り、豚のように寝ころんでいたが、

「太作、おめえ、最近、ちょっとこちょこ、人のみこみをとりこんでいやあがるが、いずれ判ることよ、おめえの悪は――」

と、男はせせら笑いながら爪を噛んだ。

「まあ、そんなこたあ言うな。ひとつばしり酒を仕入れてくるから、機嫌を直せや」

――……――。

泥酔した男を外へ引張りだした。肩にかぶさりながら、それでも一度目を開けたが、なにを感違いしたか

「もういいや」といった。太作は「ばかやろう、もういいやにしてやるぜ」

小屋の前の地面に崩れおちた男を起こしながら、匕口の鞘をはらった。

「長い間のたかりも、これでちゃんだ。くたばりやあがれ」

星だけがこの惨景を見ていた。

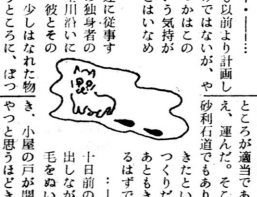
乾いた黒土は、血をおもいつきり吸った。

――……――。

酒がたりなくて、舟場の居酒屋へ飲みに行き、帰りの夜道で、どこの誰とも判らぬ男と喧嘩し、そのために裏れ刺された。自分のところへ助けを求めにくる途中出血のため命が絶えたという筋書を想定した。倒れた場所も小屋から百歩ほどのところが適当であろうと考え、運んだ。そこは、逃げてきたという状況を、つくりだすこの血痕のあとをきれいに残るはずであった。

――……――。

十日前のことを思出しながら、鼻の毛をぬいていたと



町の昔ばなし

三郎は、男が、なぜ、逃げる途中にある自分の家に助けを求めないで、小屋を目指したのか、なにか、その、かげに作意が感じられてならなかったので、白の失踪についても、とくに、とくに、はっきりと太作を示した。